

2022年7月発行

茨木御堂 第284号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

●法語カレンダー八月の法語

我が身を深く悲しむ心に
仏法のことばが郷音く

過日久しぶりに何人かで温泉旅行に行ってきました。コロナによる制限も緩和された直後だったので、感染対策はしっかりしながらも心置きなく出かけました。我々が案内された夕食の部屋の隣では、すでに二十数名の若い男女の団体が宴会をされています。結構声高に騒いでおられたようでありました。その団体さんの宴会は先に終わって、我々はしばしの間静かな夕食をさせてもらいました。食事が終わって部屋に帰る途中にカラオケボックスがあり、先ほどの若い団体が貸切りで楽しんでおられたようです。かなり大きくにぎやかな声が廊下にまで漏れ聞こえていました。寝る前に風呂に行くのにその場所を通ると、カラオケボックスの隣にラーメンの店があった。例の若者客がまたしてもラーメンの店で立ち回って大はしゃぎの様子でした。もちろんマスクなど誰一人していません。その様子を見て我がグループの人は一様にこんなことを言っていました。「マスクもせずにどうもなのかな」「ああいう中で感染が広まるのやな」「ああいう若い連中がおるからなかなか感染がおさまらないのやで」等々の言葉が出てきました。こちらは風呂に行くのもマスクを着けているのと同じ思いもあるのでしょうか。私自身も一緒になって同じ批判をし、同じ思いを抱いたことでした。一瞬ふと我に返って若者たちへの批判、こちらはちゃんとマスクを着けているのと言う、い

わば慢心ともいえるものをふと感じたのです。しかしその時他の人を批判した、悪口を言ったという思いは少しもありませんでした。寝床に入ってから、寝付けないままに先ほどの光景をふと思い出しました。よくよく考えてみると、若者たちだつて言い分があるはずですよ。久しぶりにコロナから開放され、長い間待ちに待った旅行であり宴会だったことですよ。そういう若者たちの気持ちも察せず一方的に批判し悪口を言った自分に少々後ろめたい気持ちや悲しい思いをしたことでした。

しかし、表題の法語で言われている「悲しむ心」とは、そんな薄っぺらい「悲しさ」をおっしゃっているのではないようです。この程度の悲しさとか反省ではないはずですよ。なぜならそこには「仏法のことば(少しも)響く」ことが私にはなかったからです。私たちは仏法を聞く身です。仏法によって救われたいと願っています。にもかかわらず「仏法のことばが響く」ことが無いのです。常に仏法を聞いているにもかかわらずです。このことが実は「悲しい」のです。いくら聞いても仏法のことばが響かないこと、そのことが本当の悲しさなのでしょう。この法語は、いくら聞いても聞いても「仏法のことばが響く」とかないこの「我が身を深く悲しむ心」にこそ、「仏法のことばが響く」のだとおっしゃってくださいているのだと思います。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

7月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(火) 午後1時半より

会場 茨木別院会館

講師 加藤 恵氏

●暁天講座

日時 21日(木) 午前7時より勤行

22日(金) 引き続きご法話

会場 茨木別院本堂

講師 沙加戸 弘氏

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日時 28日(木) 午後1時半より

会場 茨木別院会館

講師 高木 淳善氏(覚成寺住職)



8月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(金) 午後1時半より

会場 茨木別院会館

講師 加藤 恵氏

●お盆墓法要

日時 7日(日) 午前10時より

会場 茨木別院会館

●盂蘭盆会・夏の御文

日時 13日(土) 午後1時半より

14日(日) 3時頃まで

会場 茨木別院本堂

講師 茨木別院輪番・列座

●親鸞聖人御命日・婦人会例会

日時 28日(日) 午後1時半より

会場 茨木別院会館

講師 茨木別院輪番

会場

別院本堂

講師

茨木別院輪番・列座

日時

八月十三日(土)・十四日(日) 午後一時半より

盂蘭盆会・夏の御文

会場

別院会館

日時

八月七日(日) 午前十時より

お盆墓法要

パンと牛乳を「株式会社 京仏具小堀」様の協賛で用意しております。

たいと存じます

講師 沙加戸 弘

講師

「法然上人誕生

泣き声と呼んだ時代」

講師

沙加戸 弘氏(大谷大学名誉教授)

日時

七月二十一日(木)・二十二日(金)

午前七時より勤行、引き続きご法話

暁天講座



そろそろ本格的な夏がやってきました。園では水遊びが始まり、子どもたちの声が響いています。この時期は体力や食欲が落ちたり、睡眠時間も不十分だったりして夏バテしやすくなります。また、気温の上昇に伴い、熱中症の危険性もあります。こまめな水分補給を心掛けて、生活リズムを整えながら、この夏も元気に乗り越えていきましょう。



4日 セタまつり
12～15日 幼児組個人懇談
15日 避難訓練
19日 終業式
20・21日 夏期保育
28日 年長組デイキャンプ



12～15日 お盆休み保育協力日
19日 避難訓練
25・26日 夏期保育

※上記の行事予定は変更する場合があります。
ご了承ください。

☆7月7日はセタ☆

セタは昔、中国から日本に伝わった星まつりです。彦星と織姫という男女の星が、天の川をよさんで向かい合っていて、この二つの星が一年に一度7月7日にだけ会えるという言い伝えからまつりが始まりました。

夏の夜、8時ごろに東の空を見上げると3つの明るい星が見られます。この星を線で結ぶと「夏の大三角」といわれます。アルタイルは彦星、ベガは織姫にあたります。

ぜひ夜空を見上げて、星探しをしてみてくださいね。



お知らせ

7・8月の園庭開放はありません。
誕生会、あそぼう会につきましては、当面の間中止しています。
ご家族で楽しく、健康・安全に気を付けてお過ごしください。

2022年門徒会総会 2021年度事業報告

2021年	4月	8日	はなまつり		
	5月	7日	門徒会役員会		
	22～23日		永代経法要（新型コロナウイルスにより内勤め）		
	7月19～20日		暁天講座	教導/東館 紹見 氏	参詣 30名
	8月	7日	お盆墓法要		参詣 10名
	13～14日		孟蘭盆会（新型コロナウイルスにより内勤め）		参詣 24名
	9月21～22日		秋季彼岸会法要（新型コロナウイルスにより内勤め）		参詣 18名
	10月	14日	報恩講運営委員会		参詣 16名
	11月	5日	仏具おみがき		参詣 14名
	14～16日		報恩講		参詣 65名
	12月	31日	除夜の鐘		
2021年	1月	1日	修正会		参詣 5名
		9日	本山九日講初講		参詣 40名
	3月17～18日		春季彼岸会法要	教導/宮部 渡 氏	参詣 31名

毎 月	5日	教如上人ご命日・同朋会	教導/加藤 恵 氏(教圓寺住職)
	9日	本山九日講（6月は旅行【茨木別院門徒会と合同】、11・12月は休み）	
	28日	親鸞聖人ご命日・婦人会	教導/茨木別院輪番

新型コロナウイルス感染症による対策措置

- 同朋会 2021年4月～2021年11月まで休会
- 本山九日講 2021年10月、2022年1月初講、茨木別院にて開催
- 茨木別院門徒会・本山九日講合同研修旅行（例年6月開催）開催中止
- 婦人会 2021年4月～2022年4月まで休会

2021年度 門徒会会計収支決算書（2021年4月1日～2022年3月31日）

〔収入の部〕

科 目	2021年度収入額	2022年度予算額	予算比	備 考
前期繰越金	2,001,106	2,001,106	0	
門徒会年会費	1,310,800	1,700,000	△398,200	前年度門徒会年会費未納者がいたため
寄 付 金	0	0	0	
雑 収 入	17	0	16	預金利子
合 計	3,311,923	3,701,106	△389,183	

〔次期繰越金内訳〕

現 金	15,000
高瀬郵便局通常貯金	1,621,863
郵便局振替貯金	70,405
合 計	1,07,268

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）別院門徒会諸帳簿を監査しました結果、適正であることを認めます。

2022年5月18日
会計監査
鈴木 隆志 / 桃木 次郎

〔支出の部〕

科 目	2021年度支出額	2021年度予算額	予算比	備 考
会 議 費	0	50,000	△50,000	
事 務 費	11,500	50,000	△38,500	通信費/払込書印字料
研 修 費	0	100,000	△100,000	
教区負担金	40,000	50,000	△10,000	
交 際 費	0	50,000	△50,000	
雑 費	53,155	100,000	△46,845	門徒会費振込料
回 付 金	1,000,000	1,000,000	0	御堂修復積立金
別院志納金	500,000	500,000	0	茨木御堂印刷費
予 備 費	0	1,801,106	△1,801,106	
次期繰越金	1,707,268	0	1,707,268	
合 計	3,311,923	3,701,106	△389,183	

2022年度事業計画 (別院年間行事予定)

2022年 5月 10日 仏具おみがき

18日 門徒会役員会

23日 門徒会総会

23~24日 永代経法要

教導/墨林 浩 氏

7月21~22日 暁天講座

教導/沙加戸 弘 氏

8月 7日 お盆墓法要

13~14日 孟蘭盆会

9月 秋季彼岸会法要

10月 報恩講運営委員会

11月 仏具おみがき

14~16日 報恩講

12月 31日 除夜の鐘

2023年 1月 1日 修正会

9日 本山九日講初講

28日 婦人会報恩講・新年の集い

3月 春季彼岸会法要

毎 月 5日 教如上人ご命日・同朋会

教導/加藤 恵 氏 (教圓寺住職)

9日 本山九日講

【6月は旅行 [茨木別院門徒会と合同]、11・12月は休み】

*今年度の茨木別院門徒会・本山九日講合同研修旅行は中止

28日 親鸞聖人ご命日・婦人会

教導/茨木別院輪番

仏具おみがき、婦人会報恩講等の日程、他行事の詳細は
2ヵ月毎に発行の「茨木御堂」でお知らせします。

2022年度 門徒会会計予算書 (2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

[収入の部]

科 目	2022年度予算額	2021年度予算額	備 考
前期繰越金	1,707,268	2,001,106	
門徒会年会費	1,700,000	1,500,000	
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	0	0	
合 計	3,407,268	3,701,106	

[支出の部]

科 目	2022年度予算額	2021年度予算額	備 考
会 議 費	50,000	50,000	予算決算会議
事 務 費	50,000	50,000	消耗品費・通信費等
研 修 費	100,000	100,000	研修会旅行補助
教区負担金	50,000	50,000	
交 際 費	50,000	50,000	
雑 費	100,000	100,000	門徒会会費振込料
回 付 金	1,000,000	1,000,000	御堂修復積立金
印 刷 費	500,000	500,000	茨木御堂印刷費
予 備 費	1,507,268	1,801,106	
合 計	3,407,268	3,701,106	



園長の一言

●自由保育と一斉保育(前号よりつづき)

前号では「自由保育」と「一斉保育」について述べました。この二つは対立するものではなくて保育形態の違いであることも確認いたしました。しかし、対立はしないもののその共通点というか根底にあるものは「幼児が真剣に求めているのは自由である」ということであって、いずれの保育形態を採用しても、この命題を絶対に外さないということが大切です。

「こどもが自由を求めている」ことの一つの例を挙げてみます。私は道を歩いている時、時々親子連れの人に出会います。自分の時間にゆとりがある限り、その姿をじっと見ていることがよくあります。こどものしぐさを見ると、とってもかわいいからであります。ところがこんなことに出くわすことがあります。可愛い子どもが母親と手をつないで歩いていきます。家に帰る途中なのか、スーパーにでも行く途中なのか。子どもは目標に向かって歩いているお母さんと、ひとときも一緒に歩いてはいません。必ずお母さんから手を放し何か興味のある方へ走ります。駐車している車に手を触れてみたり、歩道と車道を仕切っている低いブロックの上を歩いてみたり、水たまりがあると必ずこどもは水たまりに入りたがります。お母さんにしてみれば目標に向かつて一本の道を歩いていこうとします。しかし子どもはそれが不自由なのですね。ここに現れているのがつまり「こどもは自由を求めている」ということであります。この時、お母さんに

時間のゆとりがあるかないかで対応は変わってくると思います。が、そのみちくさなるものを危険に注意しながら許しているお母さんと、手をはなさずまっすぐ目的に向かって、この道をしっかりと歩いてついてきなさいと言わんばかりのお母さんとに分かれます。保育の形態から見ると、前者は自由保育的で後者は一斉保育(又は設定保育とも言います)的であります。つまり両方とも行き着く先は一緒なんだけれども、このお母さんが「こどもが真剣に求めているのは自由である」ことを、どれだけ受け入れてあげているかの違いだと思います。

いばらき大谷学園の保育形態は一斉保育(設定保育)の部類です。特に三歳以上のクラスでは、制作活動にしても音楽活動にしてもそうであります。何度も言いますが、それが悪いわけではありません。当園は長い間、幼稚園としての歴史をもっています、その流れの中で選んでいる保育形態なのです。ただ、最も大切なことは、その活動の中で「子どもが真剣に求めているのは自由である」という保育の原理原則を、保育者がしっかりと踏まえて保育をしているかが問われるのだと思います。たとえ活動そのものが保育者によって設定されたものであっても、その枠内で活動するこどもが、いかに主体的で自由意志をもって活動に参加しているかをしっかりと見極めながら保育が進められていくことが重要であります。

園長 高本文善

永代経法要

五月二十三日二十四日に永代経法要をお勤めしました。講師に墨林浩氏が来られ、「真宗門徒とお浄土」という講題でお話しいただきました。

新型コロナウイルスは未だにおさまってはいませんが、参詣も少しずつ戻ってきており、お参りされた方は、熱心にお話しを聞かれていました。

また二十三日の法要前の時間を使って、茨木別院門徒会

総会を開催しました。昨年は、

緊急事態宣言により開催を中止

しましたが、本年は無事に開催

することができました。



須弥壇納骨のご案内

本堂須弥壇（ご本尊）の下に納骨壇を設けております、たくさんの方にご利用いただけるようご案内いたします

●冥加金

茨木別院門徒・ご崇敬内門徒

七万円

その他

十万円

真宗大谷派に所属する
寺院・僧侶・門徒に限
らせていただきます。

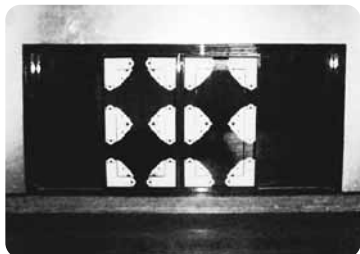
*納骨時の儀式執行は別院が執行します。

*申込みについては、事前に別院事務所まで

お問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先：茨木別院事務所

☎〇七二一六二二一二九〇三



合祀墓のご案内

茨木別院墓地敷地内に合祀墓を設けております。

納骨をお考えの方は一度ご連絡下さい。



個別納骨（石版に法名を刻名）

●冥加金

三十二万五千元

納骨冥加金 二十万円

永代管理費 十万円

刻名料 二万五千元

合同納骨

●冥加金

五万円

●ご利用は浄土真宗に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。

茨木別院事務所受付・閉門 時間についてご案内

事務所

〔平日〕九時～十七時

受付時間

〔土・日〕〔基本〕

〔祝日〕九時～十六時半

閉門時間

〔平日・土〕十九時頃

〔日・祝日〕十六時半頃

＊法務等で事務所が留守になっている時間帯があります。ご用事がある場合には事前にご連絡いただき事務所が開いているかご確認の上ご来院お願いいたします。

●茨木別院事務所

☎〇七二一六二二二九〇三

＊月忌参り、法事等の申込については電話での連絡も受け付けております。

＊須弥壇・合祀納骨の申込については、電話での対応も受け付けておりますが、それぞれ納骨予定日までには申込用紙を茨木別院まで取りに来ていただき提出いただく必要があります。
＊土・日・祝日の対応について、時間帯によって電話がつかない場合がございます。

— 生花・供花・けいこ花 —

株式会社 花 廣

茨木市大手町二二一八

☎(〇七二)六二二二四〇二

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

●法名 釋正心

俗名 河野 正志

七十三歳

●法名 釋尼悦幸

俗名 成瀬 幸子

九十七歳

●法名 釋徳成

俗名 中谷 俊成

八十九歳

●法名 能大院釋清新

俗名 中村 新

七十三歳

●法名 光明院釋尼妙智

俗名 三輪 美智子

八十五歳

●法名 清浄院釋健明

俗名 内田 健彦

九〇歳

●法名 釋尼妙紀

俗名 金原紀久子

八十八歳

●法名 釋真徳

俗名 泉義徳

九十一歳

編集後記

コロナが少し落ち着きつつある中で、ようやくリポートでの会議に参加し始めました。世間のスピードと自分のスピード、世間の物差しと自分の物差し、いろんな違いを考えさせられます。

岡崎 康祐

お寺の行事に限らず、各所でイベント・集いの場が開かれ、賑わいが戻りつつあるように感じます。梅雨の時期ですが、集いの場に「まず一歩」踏み出していきましょう。

墨林 尚顕

マスクを着けて、手を消毒して、ここ二・三年続いていることが当たり前習慣となりました。外出自粛の習慣により、お寺やお墓へのお参りも少なくなっているように思います。コロナ前と同じとはいきませんが、法要にお参りする習慣も思い出していただければ幸いです。

竹内 明人